

1. 中部地方整備局港湾空港関係の組織紹介

2. みなとの役割と中部地域の特徴

3. 中部地方整備局で担当している仕事

4. 仕事の流れ

(参考) 最近の動き

平成13年1月 運輸省、建設省、国土庁
及び北海道開発庁を母体として設置。

「国土の総合的、体系的な利用・開発・保全、そのための社会資本の総合的な整備～等」

【本省】（霞ヶ関）

- ・大臣、副大臣、政務官、事務次官、技監、審議官
- ・大臣官房+13の部局
- ・政策統括官、国際統括官

【地方支分部局】

- ・地方整備局、北海道開発局【北海道～九州】
- ・地方運輸局【北海道～九州】
- ・地方航空局【東京、大阪】
- ・航空交通管制部【札幌、東京、神戸、福岡】

【特別の機関】

- ・国土地理院【つくば市】 ・海難審判所【霞ヶ関】
- ・小笠原総合事務所【東京都小笠原村】

【施設等機関】

- ・国土交通政策研究所【霞ヶ関】
- ・国土技術政策総合研究所【つくば市】
- ・国土交通大学校【東京都小平市、千葉県柏市】
- ・航空保安大学校【大阪、宮城】

外局



魅力ある観光地の形成、
国際観光の振興



災害防止等のための
的確な気象情報の提供



事故等の原因究明、事故等の
再発防止のための勧告



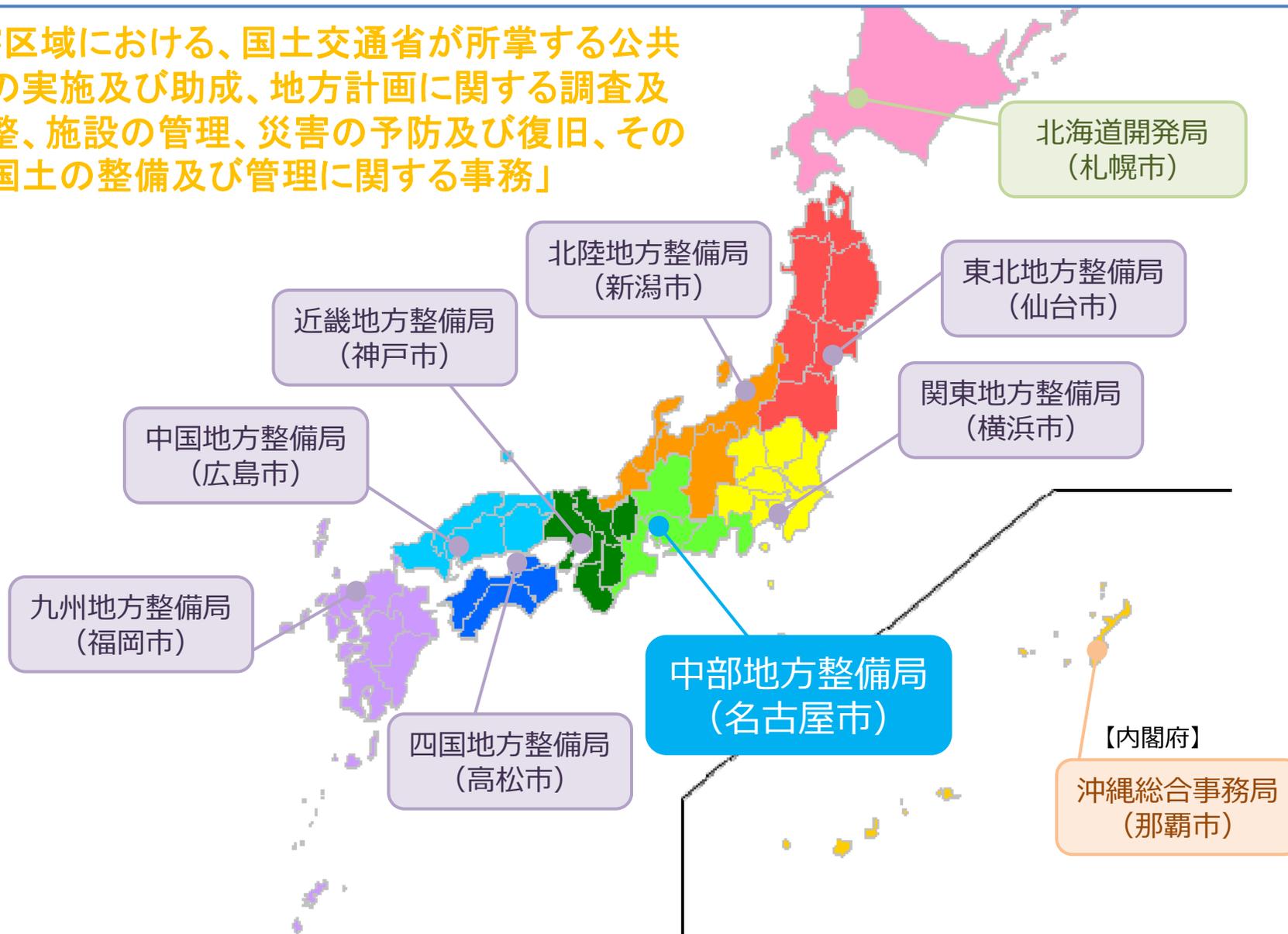
海洋秩序の維持、
環境保全、海洋調査

国土交通省地方整備局等 管轄図

(港湾空港関係)

8つの地方整備局と北海道開発局等の地方支分部局があります。

「管轄区域における、国土交通省が所掌する公共事業の実施及び助成、地方計画に関する調査及び調整、施設の管理、災害の予防及び復旧、その他の国土の整備及び管理に関する事務」



中部地方整備局 管内図 (港湾空港関係)

- 凡 例
- 国際拠点港湾
 - 重要港湾
 - 地方港湾(避難港)

